

令和7年第5回厚沢部町議会臨時会提案理由書

(令和7年12月24日)

令和7年、第5回、厚沢部町議会臨時会の開会にあたり、一言ごあいさつと、提案理由を申し上げます。

今年も残すところ、あと1週間となりました。

先週16日、高市内閣が初めてまとめた総合経済対策の裏付けとなる補正予算が、与党並びに国民民主党、公明党などの賛成多数で可決、成立しました。

子ども一人当たり2万円を支給する「物価高対応子育て応援手当」や各自治体が地域の実情に応じて活用できる「重点支援地方交付金」などの予算が配分されました。これを受け、本町では物価高騰などの影響を受ける町民や事業者を支援するための事業を取りまとめたところであります。本臨時会で予算が可決され次第、速やかな執行に努めてまいります。

先日、子育て世帯向けの移住体験事業「保育園留学」をともに手掛ける株式会社キッチンハイクが「第5回日本サービス大賞」において優秀賞と審査員特別賞を併せて受賞されました。

「革新的な優れたサービス」として、全国768件の応募の中から選ばれたもので、報道によりますと「地域の皆さんとゼロから挑戦し、厚沢部の皆さんや認定こども園「はぜる」の

力なくして成し得なかった」とのコメントが紹介されておりました。

全国で約 70 の地域が取り組んでおります「保育園留学」の先駆者として、株式会社キッチハイクとともに、本事業のさらなる発展に力を注いでまいります。

町長就任以来、積極的に取り組んでまいりました「夢につながるトップアスリートとの交流」事業では、バスケットボールや柔道、野球などのトップアスリートを招聘してまいりました。今年度は 100m ハードルの元日本記録保持者であり、今年 10 月に第一線を退いたばかりの寺田明日香さんをお招きすることが決定しました。年明けの 1 月 31 日土曜日に、町民交流センターあゆみにて講演をしていただく予定です。

寺田さんには、これまでのアスリートとしての経験などをご講演いただくとともに、子どもたちとの交流の場も設けていただく予定ですので、町民の皆様には、是非楽しみにしていただきたいと思います。

本事業は、トップアスリートとの交流を通じてスポーツの楽しさや素晴らしさを伝え、子どもたちが夢や目標を持つ後押しをすることを目的としております。技術の習得が早まり、効率的な練習方法を学ぶ機会にもなりますので、今後も継続して取り組んでまいります。

次に、本臨時会に提案いたします案件は、補正予算案 2 件であります。

議案第 1 号の令和 7 年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、7 千 345 万 9 千円を追加し、予算の総額を 60 億 4 千 214 万円とするもので、主な内容は、

先程も申し上げましたが、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」及び、「物価高対応子育て応援手当支給事業費等補助金」に対応する事業の予算計上のほか、北海道の「地域づくり総合交付金事業」の採択に伴う所要の予算を補正するものであります。

総務費では、地域応援券給付事業費補助金、防犯カメラ設置工事費のほか、町内会街路灯電気料補助金の増額、

民生費では、物価高対応子育て応援手当のほか、高齢者等冬期生活支援事業給付費の増額、

衛生費では、11 月分から実施している水道の基本料金減免措置を 4 箇月間に延長し、その財源として簡易水道事業会計繰出金を増額するものであります。

農林水産業費では、北海道の補助事業に採択された、地域水田農業 W C S（ホールクロップサイレージ）作業受託機械導入支援事業費補助金、カボチャ電子式重量選別機導入支援事業費補助金であります。

議案第 2 号の令和 7 年度厚沢部町簡易水道事業会計補正予算
につきましては、55 万円を減額し、予定額を 6 億 5 千 949 万
9 千円とするものであります。

以上が、本臨時会に提案いたしました議案の概要であります。

詳細につきましては、副町長、関係課長に説明にあたらせ
ますので、ご審議の上、ご賛同賜りますよう、よろしくお願い
申し上げます。